

同窓会報

発行/同窓会事務局 〒935-8535 氷見市幸町17-1 氷見高等学校内 Tel 0766-74-0335 Fax 0766-72-8136

会長就任にあたって



同窓会会長
稲積佐一

この度、平成十三年度、本校同窓会総会に於きまして、図らずも会長に選任され、大変光栄に存じて居る処でございます。

私のような浅学な者では、果たして先輩方の築かれた名誉と伝統を守ることが出来得るかと思いましたが、長年副会長を務めさせて頂きました経験をもとに生かし、皆様方のご指導とご協力を賜りまされば、何とか任務を果たせるだろうと思いましたが、非才をかえりみず、お引き受け致しました。顧みますれば、昭和二十六年八月戦後初の制度改革後の総会に於きまして、初代会長として中辻秀治氏(中学一回卒)が選任されました。翌年には新制高校卒業生からも副会長をとの事から私が選出されました。爾来、万谷尚久氏(中学一回卒)、伏脇欣二氏(中学一回卒)、野畑栄作氏(中学二回卒)、屋敷平州氏(中学七回卒)、加藤道郎氏(中学九回卒)等、歴代会長の補佐役を務めさせて頂きました。

しかしながら、加藤会長には任期中にご逝去なされ、大変ショックで、唯々無念でなりません。最も短期間のお付き合いではございましたが、本人の気骨から滲み出る人間性にはいつも感動を覚え、私の心に深く刻み込まれて居る処でございます。これからも加藤会

長の意を心として同窓会活動に全力を尽くしていきたいと思っておりますので、ご協力を頂きたいと存じます。

さて、今迄、関東、関西の支部総会には、十数回にわたり会長代理として出席致しましたが、今年度初めて、関東支部総会に会長としてお招きを頂きました。毎年八十名余りの出席者で盛会裏に終えています。今年も百名余りの出席で、特に、参加者各自の趣味、趣向、職業上の特技等がプログラムに記載され、今後の縦横の繋がりを強める手段として活用いただければ、との会長さんのお話でした。中には、東大病院看護婦長(第十八回卒業生)で病気の相談何でも受けますとの嬉しいお話もありました。石出会長を始め、役員、世話役の皆様方には厚くお礼申し上げます。

また、関西支部におかれましても、設立以来家族的な雰囲気、総会以外でも、ゴルフの会、グレルの会等の行事を企画運営され、更に親睦を深めておられることにつき、大変有り難く、正保会長以下役員の皆様方には深甚なる敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

このような素晴らしい組織の会長として改めて責任の重大さを痛感して居る処でございます。

尚、列記致しました前述の歴代会長並びに諸先輩の教訓を糧と致しまして会務遂行に最大の努力を致したいと思っておりますので、皆様方には、更に叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。

文武両道



学校長
吉田 洋

新しい二十一世紀を迎えた四月上旬、前同窓会長の加藤道郎先生の訃報に接しました。昨年、本校に赴任して間もなく、病院経営で多忙の先生を訪ねたとき、温かく迎えてくださいました。「母校の発展が何よりも楽しみ。厳しい言い方かもしれませんが、部活動で頑張っているわりに進学面では物足りない。もっと高い目標をもって力を入れてほしい」、「子どもたちの健康には最大の配慮をしてほしい」と静かな口調ながら、泰然と話されたことが印象的でありました。今は亡き先生の言葉に、日本で第三といわれる教育改革が進行する中で、本校が進むべき方向を示唆してくださったように思っています。

米年度から、いよいよ学校完全週五日制が導入され、これに伴い翌十五年度から新学習指導要領への新たな取り組みが本校の喫緊の課題となつていきます。とりわけ、情報化や国際化の進展、少子高齢化や環境問題への高まりなど変化の激しい社会をたくましく生きぬく資質と能力を育んでいくことが求められているからです。

これまで本校では、教育方針として、①学力の向上に努める。②スポーツに親しみ、心身の鍛錬に励む。③芸術文化を愛好し、情操と創造力を高める。④学校行事等を通して、友愛と協調の精神を養う。⑤個性の伸長をはかり、すすんで適正な進路の開拓と選択にあたるよう努める、の5つの方針を掲げています。この教育方針は、「知・徳・体」のバランスのとれた人材育成を目指す基本的な考え

方であり、本校で永く受け継がれてきた「文武両道」の精神を標榜した校風そのものを根底に据え、どんなに社会が変化しようとも時代を超えて変わらぬものであると考えています。

ところで、この「文武両道」はやや古めかしい表現ですが、中国前漢時代に司馬遷の傑作と言われる「史記」の中に、「文事あるものは必ず武備あり、武事あるものは必ず文備あり」(孔子世家)の引用が語源という説があります。また、我が国でも戦国時代に「それ文武は車の両輪、鳥の両翼の如し」と信長記に出てくるそうですから、古くから処世訓として受け継がれ現在に至っているものと推察できます。しかしながら、実際には文武を両立させるためには相当の意志力がなくと続くものではありません。ともすれば勉強のために部活動が片隅に追いやり、部活動に熱中しすぎて勉強の方を犠牲にしてしまう傾向が少なからず増えているように感じています。

今、私たちを取り巻く生活環境は、高度経済成長と相まって生活水準が向上し、生活は便利になった反面、人間関係の希薄化などから社会性の不足や倫理観の問題、生活体験・自然体験の不足が及ぼす人間性への影響、さらには学力低下や運動能力の低下が指摘されるなど、様々な問題が浮き彫りになっていきます。

「これからの高校教育はどうあるべきか」を考えると、人格の完成を目指す教育の本質を見失わないことが学校に課せられた大きな役割であると認識しています。「文武両道」こそバランスのとれた高校生活を送るにふさわしい、占めて新しい教えであり、本校の「不易」の教育方針としてこれからも大事にしていきたいと思えます。

故加藤会長を偲んで

前副会長 新井志津雄

水見高等学校創立七十周年の諸行事、諸事業がすべて終了したのを機に、平成二年以来長らく同窓会長として、会員をお導きくださいました屋敷先生から、「南窓に依って憩いたきもの」とのお申し出がありました。

先生の辞意の強固なことを確かめ、会長選考委員会が設置されました。

平成十年九月二日に開催された選考委員会で、最適候補者としてあげられたのは、九回卒の加藤道郎氏でした。その推薦理由の第一として、同級会が発刊している文集「風雪」の中に書かれある一節、「よき師よき友に恵まれて遊んだ。あの五年間は何と至淳な時代であったことよ。まさに、『ああ忘れめや 丘の日を』等々」といった母校への限らない愛情を感じたこと。その第二は、高校野球での水見高校の試合時には、必ず加藤氏の姿が応援席に見受けられること。その第三は、患家に優秀な中学生がいれば、「高岡のような時間にロスの多いところより、近くて便利な水見高校へ行ったらどうか。」と声をかけられたことなどが語り合われ、全員一致での推薦となった。

お願いの使者として、稲積、新井の二名が依頼されたが、「これは難攻やぞ」の声のとおり、四日間も通った。ようやく、九月二十六日の第三回の総会において、加藤道郎氏が会長に選任されたのであります。

同窓会長の大きな仕事のひとつに、卒業式の前日、卒業生全員を同窓会員として迎える歓迎式があります。加藤新会長は、千代大海が大関の座を射とめるまでの経緯を例にあげ、不断の努力が大切とじゅんじゅ

んと諭され、卒業生はもとより列席の先生方から、「一・二年生にも聞かせたかった。」という隠された教育者の一面も語り草として残されています。

役員会開催に当たっては、無駄無理のない司会・運営に役員一同改めて偉大さを悟らされた次第でした。

親友でもあった屋敷泰次郎氏は、「お年寄の患者たちに、辛口の遠慮ない口調で治療しながら皆に頼りにされ慕われたのは、率直な加藤会長の人柄によるものであろう。せめて二期ぐらいいは同窓会長を務めて欲しかった。」とあまりにも早い訃報に、心からの追悼をくりかえして止まない。

関東支部会員の集い

開催月日/平成13年10月13日

場所/京王プラザホテル「扇の間」

出席者/来賓6名、取材1名、会員101名

祝電/富山県人会連合会会長

佐藤助九郎様

ご来賓として同窓会本部から稲積会長、母校より吉田校長、前辻先生、中浦先生、東京水見会から東軒会長、富山県人連合会から赤木常務理事をお迎えし、第18回関東支部総会および懇親会が開かれた。

石出会長より「アメリカ同時多発テロという未曾有の惨事や長引く景気の低迷等々多事多難な今日の状況にあって、楽しく、かつ心の安らぐ同窓会には大きな意義がある、そして昨年述べたようにこの会を異年次間の情報交換の場として活用することで更なる充実を図りたい、その試みの一つとして今回仕事と趣味について多くの会員か

ら情報をいただき、席次表に載せたので利用していただきたい、また本会場に予備のテーブルを設け意見交換の場とした、等々の挨拶があった。

来賓の挨拶として吉田校長より、スポーツ面での活躍、校舎のリフレッシュ、少子化の影響等々を中心に学校の近況について紹介があった。なお進学・就職状況、部活動成績一覧を全員に配布していただいた。今回は役員改選期であったが現行役員全員が留任となった。

懇親会では昨年に続きシャンソン歌手真咲杏子さん(高20回卒、浜本京子さん)に、シャンソンの古典、郷里や母を歌った自作曲、「こきりこ節」等を唱っていただき、しっとりとした秋の風情を満喫した。続いて恒例のビンゴは、例によって久保仁さん(高校19回卒)の名司会のもとで大いに盛り上がった。

中浦悟先生(高30卒)のリードにより全員で校歌斉唱。

最後に野村副会長より「この会を更に発展させるために若い人の参加を期待する。また多くの人からご意見を頂きたい」との閉会の辞があり、今年も同窓会本部から頂いた水見特産の「かまぼこ」と、主催者が用意した「ぎんなん餅」のお土産を手にして散会した。なお多くの年次やグループで二次会が催された由、そちらの方も盛会だったようである。

副会長 矢代 弥六



'01年10月13日

関西支部総会

開催月日/平成13年4月15日

場所/大阪・三井アーバンホテル

出席者/田中 春男 水見高校教頭

加納 英輔 水見高校恩師

稲積 佐一 同窓会副会長

正保 青一 有磯同窓会

会員 三八名



今年も年一回の総会が盛大に開かれました。今年教頭に就任した田中春男先生から母校の近況の報告があり、昨年のハンドボール部の国体での全国制覇など、ますます活躍している有様に一同意を強くしました。恩師の講演では水見中学の初代校長が加納英輔先生の祖父に当たられることなどを聞き、懇親会では井川浩一氏(中学一八回)が今や恒例となった手品を披露されるなど、時間のたつのを忘れて話はずみでした。

一方、グルメの会は六月二四日に琵琶湖畔のロイヤルオークホテルで広東料理を味わい、これには一八人が参加しました。年に一度発行の新聞「雷鳥一号」はこれで一六号を出し、B四版四ページながら恩師の話や同級生の便りなどを載せて、会員相互の連絡の場となっています。

水見を離れてから数十年たつ人が多くいますが、会うと水見のことばが飛び交い、水見の昔の話、最近の様子など語り合っているのが、各クラスごとの会は比較的集まりやすいのですが、全体の会は最初は参加しにくくて敬遠する人もいます。しかし、集まると皆水見の仲間ですから、うちとけて話に加わることができます。今後各会合に参加する人を増やすのが課題です。

会長 正保 富三(中学十九回)

氷高祭

氷高祭を振り返って

生徒会長 堀野 竜司

9月29日・30日。今年は三年に一度の氷高祭が開催されました。7月の後半から発足し、活動し始めた後期生徒会の最初の仕事として氷高祭の計画・運営にあたりました。今年が目標として、ステージ発表を活性化にし、できるだけたくさん生徒が参加できるようにしようと、「早稲い大会」や「腕すもう選手権」、「ビュートイースチュアメント」などを企画しました。当日は予想をはるかに超える生徒のみんなが体育館に見に来てくれ、自分たちで計画し、実行して成功をおさめたという実感を持ちました。生徒会ではこの他に、各クラスで展示や模擬店、ステージ発表を計画してもらい、より活発な氷高祭を目指しました。さらに各委員会にも呼びかけ、いろんな方面で積極的に取り組む動きがありました。三年に一度の氷高祭を成功させることが出来たのは、先生方や各委員会、各部、各クラスの協力があったことや、生徒のみなさんが活発に取り組んだことが大きな要因だと思います。このような学校行事が高校全体を明るく、すばらしい学校にするために重要なものなのだと実感することが出来ました。三年後に行われる次の氷高祭に向けて、自分たちがどのようにして成功させたのかということとを記録として残り、後輩に託したいと思います。

セミナーの発表を終えて

二年一組 若上 正雄

氷高祭で、自然科学コースの二年生はセミナーの発表をすることになった。僕たちの数学一組は、最初何を調べるかさえ決まっていなかった。話し合いの結果、「正多面体は折り紙で折れるのか」というテーマに決まった。そのテーマのもと、僕たちは参考文献を探したが、全く見つからなくて、何度もテ

マを変えようと思い、時には、数学や物理の先生にも相談した。そのうちに新しい発想が浮かび、正多角形の定義からその多角形の角を折るという方法を見つけた。その後も試行錯誤の連続だった。そして、一抹の不安を抱きながら発表当日を迎えた。いい発表ができるようにと、毎日放課後残って練習した甲斐があり、自分たちなりにうまく発表できたという思いがあった。

僕たちはセミナーを通して、一つの課題をみんなで調べることと発表することの大変さ、難しさを知った。その一方で、一人ひとりが発表の内容を工夫していたので、発表の技術を高めることもできた。僕はこのセミナーで、研究というもののすごさを学んだ。そして、必ずしも、そのテーマの答えや結果が出てくるものではないということも知った。この体験をこれからの学習に生かしていきたいと思っている。

模擬店

三年六組 堀川 三奈

私たち36日は「氷見水」と題し、かき水の模擬店を出しました。去年の三商もかき水だったので、去年よりさらによい物にしようと思ひながら、メニューを増やしたり、フルーツをつけたりと工夫を凝らしました。実行委員が中心となり、時間ギリギリまで準備をしたことがとても思い出に残っています。周りからは「季節外れだ」と批判の声もありました。50円というかなり安い値段だったので赤字状態になり、みんなで少しずつお金を出し合っただけで安いの購入したり家にある物を持ってきてなるべく出費を抑えて飾り付けをしました。去年と同じ手作りの大きなかき水を作り一人一人の手形を付け、36日のチームワークを形にできたのがうれしかったです。

待ちに待った氷高祭当日は、実行委員が朝早くから来て準備をしました。模擬店の時間になり喉がかわるほどの大きな声を出し、売れ行きは好調でした。二日目はあいにの雨となり売れ行きが心配されましたが、一般の方にも買っていただいていた最後には全て売り切れでした。みんなで協力した「氷見水」は成功に終わりました。

麗峰グリーン会のご案内

氷見高校を卒業された皆様方には、色々な地域において、ご活躍の事とお慶び申し上げます。

さて、我々氷見在郷の旧制氷見中学・氷見高校卒業の同志で、四月二十九日(緑の日)と八月十六日(盆)には、ゴルフコンペを開催しております。今年は、関東支部関西支部の多数の皆様方の出席を賜り、盛大なうちに終了しましたが、回を重ねる毎に盛り上がりを見せました。また、上野昭喜氏や多数のシングルプレイヤーも出席しております。中でも旧制中学の土居重信一三三亭社長も、楽しんでおります。又、昭和40年夏の甲子園出場の中春男本校教頭が今年出席され、母校の近況や、野球部、ハンドボール部、自転車競技等スポーツ、文化部の活躍を報告され我々一同、卒業生として溜飲を下げた次第でございます。人は皆、年を経れば一層、鮭や鮎の如く、帰巣本能が働きます。望郷の念にかられると申しますが、我々も例外ではありません。今後の皆様方の多数のご参加を心待ちにして、また、グリーン会初代会長方明男氏、二代堀野貞夫氏、三代弱筆年ら細川が務めさせて頂いております。事務局長室住文雄、事務局佐伯鉄夫でございます。詳細は、どうぞお問合わせ下さい。(連絡先:民宿城山:〇七六六一七二一一四三三)皆様方のご健勝を祈り乍ら、麗峰グリーン会で再会できる事を心待ちにしております。

人生を楽しく、有意義に過ごされませう。氷見の地より折念申し上げ、ご案内とします。会長 細川 勝行

同窓会新役員

役職	氏名	卒業回
会長	稲積 宏一	中学18回
副会長	森 季子	高女28回
副会長	七 徳満	中学19回
副会長	石坂 弘	高校5回
副会長	森 越 林太郎	高校8回
副会長	萬 谷 健 郎	高校12回
副会長	西 田 壽美子	高校15回
副会長	松 木 俊 一	高校18回
副会長	中 尾 勇 美	高校18回
副会長	土 居 治 浩	高校21回
副会長	嶋 田 茂 昌	高校31回
会計監査	丸 山 義 昌	中学16回
会計監査	菅 沢 裕 明	高校12回

平成13年度 同窓会会計予算書

1 一般会計 平成13年4月1日～平成14年3月31日 単位:円

＜収入の部＞				
科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
会費	234,000	277,000	-43,000	卒業生①1,000円×234人
入会金	234,000	277,000	-43,000	"
前年度繰越金	453,549	431,736	21,813	
雑収入	451	264	187	預金利息
計	922,000	986,000	-64,000	
＜支出の部＞				
科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
会合費	550,000	650,000	0	総会、役員会、関東関西支部総会
事務費	80,000	80,000	0	郵送料、事務用品
同窓会報発行費	120,000	120,000	0	復刊5号印刷代
慶弔費	30,000	30,000	0	香典、弔電
予備費	42,000	106,000	-64,000	
計	922,000	986,000	-64,000	

平成12年度 同窓会会計決算報告書

1 一般会計 平成12年4月1日～平成13年3月31日 単位:円

＜収入の部＞				
科目	予算額	決算額	増減額	備考
会費	277,000	276,000	-1,000	卒業生1,000円×276人
入会金	277,000	276,000	-1,000	"
前年度繰越金	431,736	431,736	0	
雑収入	254	142	-112	預金利息
計	986,000	983,878	-2,122	
＜支出の部＞				
科目	予算額	決算額	残額	備考
会合費	650,000	368,838	281,162	総会、役員会、関東関西支部総会
事務費	80,000	60,320	19,680	郵送料、事務用品
同窓会報発行費	120,000	83,790	36,210	
慶弔費	30,000	17,381	12,619	
予備費	106,000	0	106,000	
計	986,000	530,329	455,671	

収入合計983,878-支出合計530,329=差引残高453,549(翌年度へ繰越:普通預金)

母校ニュース

新任挨拶



教頭 田中春男
本校に十七年間勤務の後、高岡教育事務所にて三年間お世話になり今春三たび（高校時を含めて）戻ってまいりました。

学校の隅々まで知っているつもりでしたが、立場が異なりルーキー同様の毎日です。微力ではありますが母校の発展に最善を尽くしたいと思っています。着任早々、校長の代理として関西支部総会に出席いたしました。高校時代の恩師（担任）である正保富三先生が会長をなさっておられ、家庭的な味のする和やかで温かい総会でした。二次会にも参加し同級生の宮む店でカラオケを楽しみました。

昨年の十月には旧職員ということで関東支部総会に招かれました。東京が舞台というところもありますが、その人数と雰囲気は圧倒されそうになりました。石出会長以下スタッフの皆様のご協力とご努力に心から敬意を表したいと思います。

二つの支部総会を経験した私には、本家の同窓会総会に期するものがありました。今年には三年に一度の水高祭の年でもあり、何とか関東に劣らない人数を集め、関西に近味を出すべく事務局のメンバー共々頑張りました。八十三名（例年四十名程度）の参加をいただき活気づきました。まだ誉一の大広間がいっぱいにはなりませんでしたが、次回はぜひそうありたいと念じています。この日は、稲積会長が新任され、その門出にふさわしくパワーに溢れ和やかな集いになりました。

最近の高校生は無気力・無責任・無関心などと言いますが、母校の生徒には余り当てはまりません。それは水高祭における生徒の活動を通してよく分かりました。授業の合間をぬって実によくやっています。『自ら企画し製作して発表する』このことができていたように思います。中でも二年一組が七千五百個の空缶を回収してクラス

が一丸となって作り上げた寒（五）ブリは圧巻でした。正面玄関の壁面に掲げられ、天に向かって飛躍する姿がふれあいスポーツセンター方面からでもよく映りました。この期間は生徒の真剣な目差しと満面の笑顔があり、先生との会話も弾んでいたように思いました。

しかしながら少しの生徒には進路や人間関係などで悩み、学校から足が遠のいているのも事実です。今こそ学校・家庭・地域がそれぞれ努力し、互いに連携していかねばなりません。どうか同窓生の皆様から熱き思いを寄せていただき、叱咤激励を賜りますようお願いを申し上げます。新任のご挨拶といたします。

平成13年度新任教職員

- 教頭 田中春男（↑高岡教育事務所）
- 英語 豊原正貴（↑志貴野中学）
- 音楽 福島久美子（↑新湊高）
- 国語 濱谷晴美（↑高岡商業高）
- 数学 小瀬康子（↑高岡商業高）
- 社会 廣瀬恵美子（↑石動高）
- 事務 沙魚川久貴（↑富山西高）
- 主任 松井豊（↑呉羽高）
- 理科 朝倉裕紀子
- 国語 古橋裕子
- 社会 竹内清明

平成13年度転退出教職員

- 事務 明野隆重（退職）
- 英語 岡中雅美（↑高岡南高）
- 数学 渡辺昇（↑高岡北高）
- 音楽 小坪裕子（↑新湊高）
- 国語 高澤真穂（↑高岡工業高）
- 社会 池田康広（↑砺波女子高）
- 国語 鎌谷美智代（↑高岡南高）
- 体育 榎見祐子
- 英語 狭間成美
- 社会 多田素志
- 理科 岡村千尋
- 主任 高田正光（↓小矢部園芸）

叙勲・褒賞・表彰

- 勲四等瑞宝章 清水隆治氏（中工）
- 勲五等瑞宝章 森信子氏（高十普）
- 県教育功労者表彰 坂本弘氏（高八普）
- 北日本新聞スポーツ選奨 自転車部 中田博之
- 安部賞 体育スポーツ部門 男子ハンドボール部 中田博之

北日本新聞スポーツ選奨を受賞して

賞は、今回、北日本新聞スポーツ選奨という素晴らしい賞を受賞することができました。高校生活最後の年にこの賞を頂けたことを大変誇りに思います。これも、ひとえに三年間指導してくださった先生方、苦しい練習を支えてくれた家族、これら全ての人達のおかげです。今後も、日々努力していきます。どうもありがとうございました。

平成十三年度部活動成績

- 運動部
 - 平成13年度全国高等学校選抜大会
 - 自転車部 第8位 中田博之
 - 種目別入賞 第8位 矢代慎吾
 - 富山県高校体育連盟賞
 - 自転車部
 - 女子ハンドボール部
 - 平成13年度富山県高等学校春季ハンドボール大会
 - 優勝 男子ハンドボール部
 - 優勝 女子ハンドボール部
 - 平成13年度富山県高等学校総合体育大会
 - ハンドボール競技 優勝
 - 男子ハンドボール部
 - ライフル射撃競技
 - ビームライフル・エアライフル少年女子 第1位 大野友紀
 - 自転車競技
 - 8種目中7種目 優勝 中田博之
 - 8種目中1種目 優勝 矢代慎吾
 - 第54回富山県高等学校陸上競技
 - 対抗選手権大会
 - 女子100mハードル・女子走り幅跳び
 - 第1位 村上麻理子
 - 第37回北信越高等学校ハンドボール選手権大会
 - 男子ハンドボール部 優勝
 - 優秀選手賞
 - 高橋孝則
 - 奥森和哉
 - 川田貴史
 - 第33回北信越高等学校自転車競技大会
 - 1kmタイムトライアル
- 文化部
 - 富山コネスコ協会創立50周年記念功労賞 ESSニネスコ部
 - 平成13年度富山県高校写真展 優秀賞 久保 敬宏
- 事務局より
 - 同窓会報「第十二号」をお届け致します。会長さんが交代され、新たな一歩を踏み始めました。加藤前会長のご逝去に対し、衷心より哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りしたいと思います。会報の発行にあたり、原稿をお寄せ頂きありがとうございます。会員各位の一層のご活躍をお祈り申し上げます。